



高久一伸

文化（スポーツ・教育）の振興策は。

町 主権者教育を先進的に推進。

問 自転車による町づくりを推進するため、体育系大学の誘致・提携を推進する考えは。

生涯学習課長 大学誘致は、現在考えていないが、大学との連携は調査研究を進めたい。

問 町立中学校にタブレット端末を導入する考えは。

教育長 今年度ICT検討委員会を設置し、協議を行った。電子黒板や無線LANの環境整備とあわせて、タブレット端末の導入を図りたい。

問 町立中学校における主権者教育の現状は。

教育長 社会科授業の中で政治に関する学習、生徒会

による中学生サミットや模擬議会の開催、町議会本議会の傍聴、模擬選挙体験の授業の実施等、県内の中でも進んだ取り組みをしている。

今後も「町を自慢できて誇りを持ち、政治に関心があり、まちづくりに意識的に参加できる」生徒を育てていきたい。

公共事業の専門的管理は。

町 情報システムは一般職員で対応、開発は委託。

問 情報システム等の公共事業の費用対効果を高めるため、町職員を一般職と専門職とで別枠採用しては。

副町長 情報システム関係では、一般職の職員採用時の書類選考や面接の中で、情報システムに長けているかどうかを判断している。現在は、一般職員の中で情報関係の対応はできると

考えている。ただし、今後は町行政の適正な執行のために、専門職の採用は、職種の専門性や必要性等を勘案して、計画的に採用していきたい。

問 情報システムの開発委託費用の抑制・削減等の観点から、情報システムの開発の内製化（町職員による開発）を図る考えは。

企画財政課長 現在、情報システム開発等は全て外部業者へ委託。

情報システム開発に高度な専門性が必要であり、行政事務が多岐にわたるシステムがある。

そのため、相当専門的な職員の確保が必要になり内製化は無理で今後も外部委託したい。



自転車による町づくり推進